

令和4年度内部環境監査総括報告書

令和4年12月14日

環境管理統括者 様

主任内部環境監査員 荒井 秀夫

内部環境監査を次のとおり実施しましたので報告します。

対象課	全部門(20部門)		
対象期間	令和4年11月1日～令和4年11月24日		
監査チームの構成	別紙のとおり		
監査結果	適合 467 件	不適合 3 件	要改善 9 件
監査結果の総括	<p>今回の内部環境監査は、適合467件、不適合3件、要改善9件との結果となりましたが、上半期部門別管理状況を見ると全体8項目中3項目で目標未達成となっています。</p> <p>コロナ禍から社会活動が再開されたことを受け、各エネルギーの使用量が増えたものと推察しますが、そうした中においても、全職員の環境に対する意識の醸成を図り、市が一丸となり地球温暖化対策に取り組むことが重要と考えます。</p> <p>各課においては、目標未達成項目について原因究明、対応策を明確にすることを求めます。</p> <p>事務局においては、課ごとに意識の差が見られるため、全課全職員が同じ意識で取り組めるよう創意工夫を講じていただくことを提言します。</p>		
不適合の主たる内容	課内での周知徹底が不十分であり、目標値を超過していました。 ごみの排出量が目標値を超過していました。		
その他	<p>市民が多く使用する施設を所管している部門については、市民に対し市役所の取り組みを理解してもらえよう、出入口付近に環境方針や省エネを呼びかける掲示を行い、省エネに協力いただくような取り組みが重要となります。</p> <p>また、保育、教育部門については、将来を担う子供たちへの環境教育の創意工夫を提言します。</p>		